

## 平成 30 年度 第 3 回 モビリティ・イノベーション連絡会議 議事概要 (案)

**1 日時：**平成 31 年 2 月 7 日 (金) 13:00~15:00

**2 場所：**お茶の水ソラシティカンファレンスセンター Room B

**3 出席者**

構成員 金沢大学 菅沼准教授 (Skype)、九州工業大学 大屋教授、慶應義塾大学 川嶋名誉教授、重野教授、植原准教授 (Skype)、筑波大学 川本教授、東北大学 鈴木教授、同志社大学 佐藤教授、日本大学 景山教授、栗谷川准教授、明治大学 中山教授、法政大学 今井教授、東京大学大学院 垣内教授、名古屋大学 倉地特任准教授 (Skype)、立命館大学 塩見准教授、東京農工大学 ポンサトーン・ラクシンチャランサク准教授、大阪大学 山崎准教授、横浜市立大学 中村教授 (Skype)、産業技術総合研究所 北崎センター長、一般財団法人日本自動車研究所 鷹取安全研究部副部長、自動車技術総合機構 河合部長、理化学研究所 中川グループディレクター・高橋プロジェクトリーダー、小出研究員、東京大学生産技術研究所次世代モビリティ研究センター／東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構 須田教授、大口教授、中野教授、坂井准教授、小野特任准教授 (Skype)、貝塚助教

臨時構 成員 ASAM Japan 庄井氏

成員

オブザーバー 内閣府 古賀氏、新エネルギー・産業技術総合開発機構 渡辺氏

事務局 一般財団法人計量計画研究所 (牧村氏、馬場氏、関本氏)、社会システム株式会社 (坂下氏、東野氏、野田氏)

**4 議事概要****(1) 前回議事概要の確認**

- ・資料 1 について説明。
- ・議事概要は承認された。

**(2) 日独連携に係る情報提供**

- ・資料 2-1,2-2 について説明。

**(3) 日欧連携に係る情報提供**

- ・資料 3-1,3-2 について説明。

**(4) 国内外の研究者リストのまとめ**

- ・資料 4-1,4-2,4-3 について説明。(資料 4-2,4-3 回覧)  
(主な議事)
- ・このまま web 等に公開するのは、個人情報保護法、EU の GDPR (一般データ保護規則) に触れてしまうのでできない。特に GDPR では、個人アクセスができるデータについては、第 3 者提供は禁止しているので、当該リストをダウンロードして第 3 者が持てる状態で公開するのはよくない。十分な考慮が必要。
- ・現在は、パスワード付きのファイル (メールアドレス除き) で構成員、内閣府、NEDO に限り情報共有する形。今後の取り扱いは事務局で検討した上で示したい。

## **(5) 海外での産官学の連携事例**

- ・資料 5-1 について説明。

(主な議事)

- ・FEV はエンジニアリングコンサルティング企業。アカデミックというよりも企業のコンサルティングを専門的に行う企業。似たような企業ではオーストリアの AVL があり、世界の 2 大双壁。大学との密接さは FEV の方が強い。日本には例がない。
- ・利益相反の問題や、国内での展開等、今後確認していきたい。

- ・参考資料 ASAM Introduction について説明。

(主な説明)

- ・ASAM は非営利法人。非競争領域における共通開発、標準化を行う。
- ・ASM での標準化の利益は研究開発者。
- ・本部は独ミュンヘンだが、日本、北米にも法人があり、国際的な組織。2015 年に日本法人が設立。
- ・26 の標準がある。近年特にホットなのは、シミュレーションにかかる標準。研究機関や企業等で管理していたオープンなフォーマットを ASAM が管理していくこととなった。

(主な議事)

- ・研究機関だと年会費は 100 ユーロ程度と安い。
- ・日本企業も 2 つか 3 つ標準化に貢献している。
- ・イスラエル発の Mobileye もメンバーに入っている。

- ・資料 5-2 について説明

## **(6) 関連分野・業態、より上流部の研究開発分野について**

- ・資料 6 について説明。

(主な議事)

- ・制度・インフラの関係で紛争が起きた時の裁判所等、司法的なもの、PL センターもある。
- ・視覚障害にかかる内容もある。
- ・走行履歴情報は、EU では個人情報となるため、個人情報の保護の緩和方法を制度的にも考え、場合によっては技術的な部分を利用して用意しておく必要があり、非常に重要なポイント。
- ・実験室でやった推定結果・確率・統計値というのは法律的なエビデンスには使えず、公道で走らせるためには法律を直必要があり、技術開発や実装が前に進まない。立法と技術の実装の関係について考えていく必要がある。

## **(7) その他**

- ・参考資料 東北大鈴木先生より、福島県庁訪問のご報告 説明
- ・南相馬市のロボットテストフィールドは今年の夏～秋に竣工。7～9 月以降入居可能。
- ・昨年 12 月に浪江町の役場から JR 浪江駅までの 1km の公道区間の走行実証を実施。

## **(今後のスケジュール等)**

- ・今年度の連絡会議は本日が最後、来年度は未定。
- ・4 月以降も継続するのであれば、出口をもう少し明確にするとやりやすい。

以上